



道の駅はちもり「お殿水」

小林 雅 丈

(地産八森大黒屋合同会社 代表社員)

【立地環境】

秋田県の日本海側最北端に位置する八峰町は、日本海と世界自然遺産「白神山地」に囲まれた、自然豊かな町です。県の魚であるハタハタは、民謡「秋田音頭」にも『秋田名物 八森ハタハタ』と唄われているとおり、当地区のシンボルになっています。

道の駅はちもりは、青森県との県境に近い国道101号線沿いに県内5番目(1999年登録)の道の駅として誕生しました。駅近辺の沿線では、約16kmにもおよぶ長い海岸線に沿って岩礁が連なり、風光明媚な景色が見られるほか、夏には海水浴も楽しめるスポットがあります。

【施設紹介】

○ お殿水 (おとのみず)

当駅の愛称にもなっている「お殿水」は、駅敷地内にある白神山地を水源とする湧き水です。



(湧き出る「お殿水」)



(道の駅外観)

昔、江戸参勤の途中この地に立ち寄った津軽2代信牧公がこの水を飲んで「甘露、甘露」と絶賛したのが由来と言われています。湧き水はいつでも自由に飲んだり、汲んで持ち帰ったりすることができますが、この水を求めてわざわざ遠くから訪れる人も多くいらっしゃいます。是非一度味わってみてください。

○ 軽食コーナー・売店

駅内の軽食コーナーでは、地元で獲れた食材を使用したメニューをリーズナブルに提供しています。

特に名物のハタハタや天然ふぐを豪快に使用した「丼物」が人気です。他にも八森産の海産物を使用した「お殿水ラーメン」や天然岩ガキなどを使用したメニューもありますので、是非一度ご賞味ください。



(ハタハタ天丼)



(北限のふぐ唐揚げ丼)

また、売店では港町ならではの名産品として、白神山地の水が注ぎ込む八森沖の海水を薪炊きで煮詰めた手作りの塩「八峰 白神の塩」のほか、八森漁港のお母さんたちが作った「鍋通亭しよつる」なども販売しています。

【今後の展開・運営方針】

当駅は、決して大規模で派手な道の駅というわけではありません。しかし、日本海側における秋田の玄関口に位置する、いわば関所の役割として今後も本県を訪れる多くのお客様に有益な情報を発信してまいりたいと思います。また、八森の魅力を少しでも多くの人に伝え、盛り上げていけるよう、地元の皆様と協力しながら、様々なことに取り組んでいきたいと考えておりますので、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

【道の駅はちもり】概要

設置者	八峰町
運営主体	地産八森大黒屋合同会社
所在地	山本郡八峰町八森字乙の水72-4
電話番号	0185-78-2300
路線名	国道101号線
登録年	1999年（平成11年）
主要設備・サービス概要	軽食コーナー、売店、道路情報コーナー、乳児用ベビーベッド、展望台ほか
駐車場	普通車30台（障害者用1台） 大型車5台
営業時間	・軽食コーナー、売店 9：00～17：00 ・道路休憩施設、トイレ 24時間利用可
休館日	12/31～1/2、毎月第2・第4木曜日